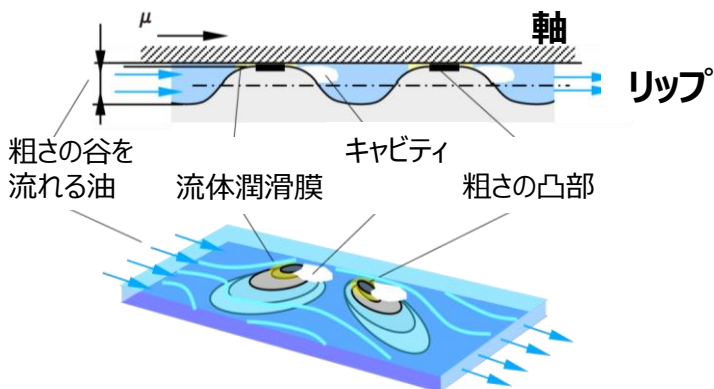


しゅう動面の凹凸を最適化し、
流体潤滑部の摩擦係数を低減

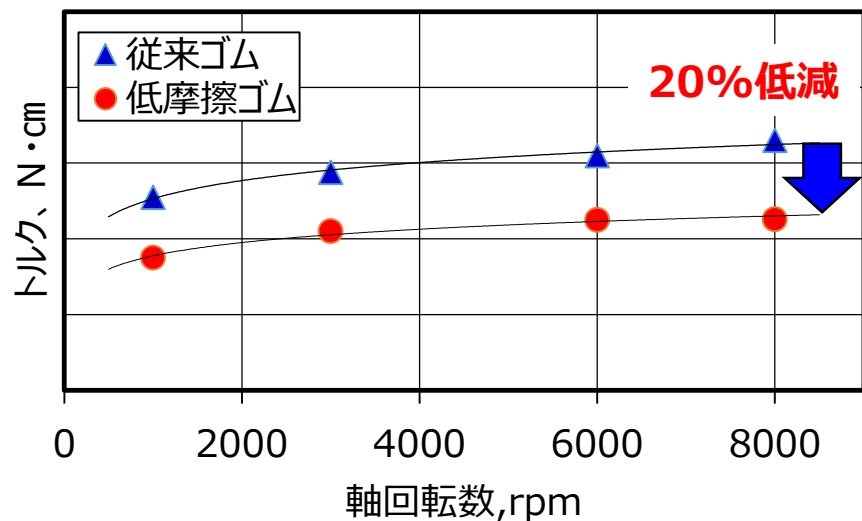
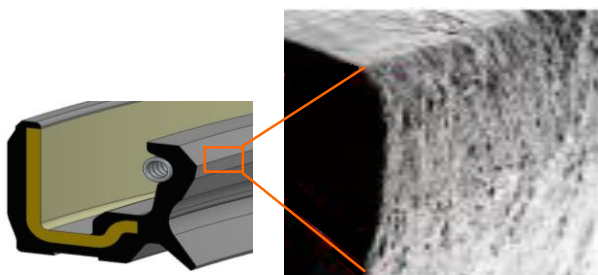
トルク低減効果
従来技術に対し

▲ 20%

■ 密封中のしゅう動面の概念図



■ 実際のしゅう動面



しゅう動面の微細な
凹凸を最適化

動圧効果により
流体潤滑膜(油膜)
が厚くなる

摩擦係数を低減

■ 特長と効果



低トルク性

従来形状対比 20%

低摩擦材にする事で、従来形状
対比で約20%減の低トルク化を
実現しました



摺動発熱の抑制

長寿命化の実現

低摩擦材にすることでリップ摺動
発熱を低減させ、シールの耐熱
寿命を長期にわたり維持できます。



持続性

長期的効果の維持

シール性を損なわずに、長期にわたり
効果を維持できます。

